

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		JR光の森駅駐輪場維持管理支援事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり				所属部	政策部	課長名	澤田 勝矢	
	施策	4	公共交通の充実				所属課	企画課	担当者名	吉田 健悟	
	基本事業	12	公共交通の利便性の向上				所属班	企画広報班	(内線)	1254	
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 11	事業連番 11467	法令根拠				
終了、開始年度		☐ 26年度で終了 ☐ 26年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 21 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)			
							成果優先度評価結果 : ⑤ コスト削減優先度評価結果 : ⑨				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	平成20年2月に菊陽町が整備したJR光の森駅駐輪場の維持管理経費について、駐輪場利用者の約半数が合志市民という実態を踏まえ、JRの利用利便性の確保と駅周辺における不法駐輪対策に協力するとの立場から、菊陽町へ維持管理経費の一部を負担金として支出する事業である。経費の負担割合は、協定により維持管理経費総額の1/4となる。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	協定に基づく負担金支払い事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	現在の駐輪可能台数に対し駐輪台数が多く路上駐車が見られる。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)		27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
協定書締結事務協定に基づく負担金支払い事務		協定に基づく負担金支払い事務	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ア 協議回数	回	維持管理業務の減と電気料の増の相殺による減	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
JR光の森駅駐輪場	%	⇒ア 駐輪場の利用率	%
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
安心して利用できる	件	⇒ア 安心して利用できないという苦情の件数	件
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
市民が駐輪場を安心して利用できることを目的としており、苦情の有無をその指標とした。			全体計画
			～ 年度
			0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込
①活動指標	ア 回	回	1	1	1	1	1	1	1	0
②対象指標	ア %	%	80	80	100	80	100	100	100	100
③成果指標	ア 件	件	0	0	0	0	0	0	0	0
投 入 費 用 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	438	439	438	445	438	438	438
	(A)事業費計	(A)事業費計	千円	438	439	438	445	438	438	438
		(A)のうち指定経費	千円	438	439	438	445	438	438	438
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)人件費計	千円	52	51	43	99	43	43	43
人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数	正 規 職 員 従 事 人 数	人	2	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	13	13	11	25	11	11	11
	(B)人件費計	(B)人件費計	千円	52	51	43	99	43	43	43
		トータルコスト(A)+(B)	千円	490	490	481	544	481	481	481

事務事業名	JR光の森駅駐輪場維持管理支援事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は26年度の事後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 菊陽町による管理が徹底すれば、今後も苦情はないものと思われる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 菊陽町との協定により経費を負担する事業であるため。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 菊陽町との協定により経費を負担する事業であるため。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 菊陽町の年間経費に左右されるが、現状では協定による費用負担割合（1/4）によって負担しているため削減余地がない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事務手続きのみの事業であるため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 当該駐輪場は、JR光の森駅の利用者は誰でも利用できるものであり、公益性が高い施設である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 施設の所在は菊陽町になり、菊陽町の設置条例による公の施設であり、利用者は無料となっている。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成26年度については、予定どおり菊陽町の請求により負担金（維持管理経費総額1/4）を支出した。
JR光の森駅の利用者数は年々増加傾向にある、利用者の利便性の維持のため本事業は継続して行うべきであると考え

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																								
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												